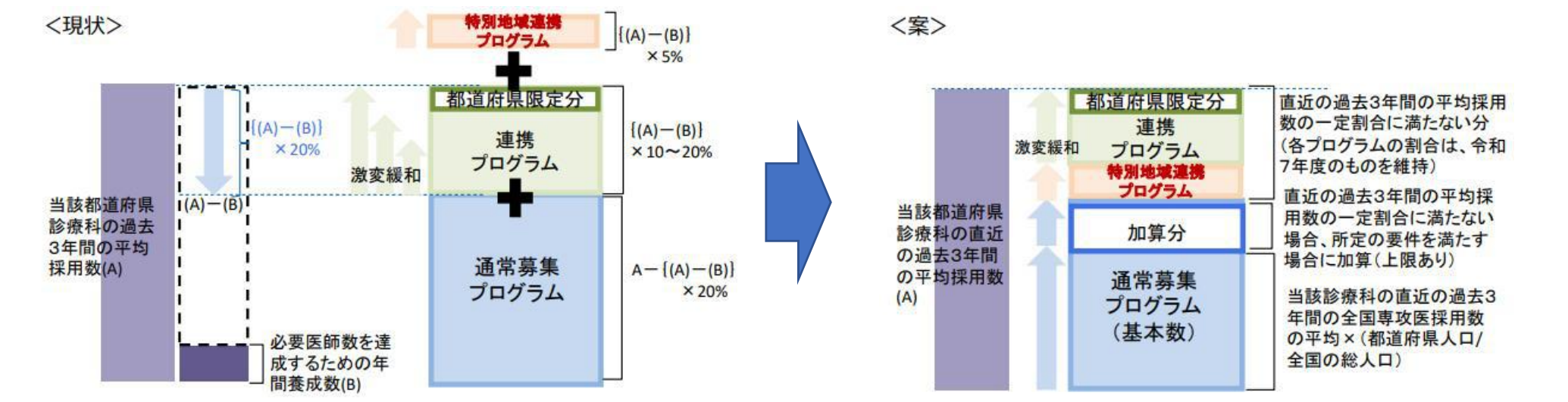


国及び専門医機構による見直し案（R8年度シーリング案）

国及び専門医機構が示す見直し案では、内科専門研修において通常枠は増加するものの、地域連携枠及び特別地域連携枠は「0」となり、総枠数が「231」から「214」となる見込み。

総枠数が機械的に過去3年の平均採用数を基に設定されるため、これまで以上の採用数の増加が見込めない制度案となっている。

■シーリング見直し案



■大阪府（内科）

	通常枠	通常枠加算※	地域連携枠	特別地域連携枠	合計
R7シーリング数	200	—	10	21	231
R8シーリング数案 (R5~7の採用平均)	206	8	0	0	214

※シーリング対象外県への指導医派遣実績に応じて、通常枠を加算。

令和8年度研修開始分に係る専門医制度案

	R7開始分シーリング数	R7開始分採用実数	R8開始分シーリング案
内科	231 (通常200、地域10、特別地域21)	217 (通常203※、地域10、特別地域4)	214 (通常206、通常枠加算8)
整形外科	47 (通常41、地域2、特別地域4)	43 (通常42、地域1)	51 (通常51)
眼科	31 (通常22、地域4、特別地域5)	27 (通常23※、地域4)	26 (通常23、通常枠加算3)
耳鼻咽喉科	20 (通常17、地域2、特別地域1)	17 (通常17)	16 (通常14、通常枠加算2)
泌尿器科	19 (通常18、地域1、特別地域0)	26 (通常25※、地域1)	24 (通常24)
放射線科	19 (通常14、地域3、特別地域2)	15 (通常14、地域1)	24 (通常24)
麻酔科	38 (通常30、地域2、特別地域6)	32 (通常32※)	34 (通常34)
形成外科	19 (通常15、地域2、特別地域2)	16 (通常15、地域1)	16 (通常16)

※内科、眼科、泌尿器科、麻酔科におけるシーリング数超過分はシーリング対象外の枠（ダブルボードや研究医枠）

<令和7年度シーリング数との比較>

- ・定員総数については、整形外科、泌尿器科、放射線科で増加、一方、内科など5診療科で減少。
- ・通常枠定員数については、内科など7診療科で増加、耳鼻咽喉科のみ減少。

<令和7年度採用実数との比較>

- ・整形外科、放射線科、麻酔科は採用数を超える定員数、形成外科は同数、内科など4診療科は採用数未満の定員数。